

2021年6月14日(月)

## HTB ノンフィクション「おっばい2つとってみた」

## ニューヨーク・フェスティバル 2021 ファイナリストに選出

HTB が制作した HTB ノンフィクション「おっばい2つとってみた～46歳両側乳がん～」(英語版) \*が、国際的映像祭であるニューヨーク・フェスティバル 2021 で、ドキュメンタリー・社会問題部門 (Documentary/Social Issues) のファイナリストに選出されました。

ニューヨーク・フェスティバルは 1957 年に設立された国連が共催する歴史ある国際的メディアコンクールです。ニューヨーク・フェスティバル 2021 には 40 カ国以上から多くのエントリーがあり、今後、10 月 12 日にラスベガスで授賞式が行われ、ファイナリストから、グランドアワードと金、銀、銅の各メダル作品、および国連賞が選ばれることになっています。

ニューヨーク・フェスティバルの HTB 作品の受賞・ファイナリスト選出作品としては、人間ビジョンスペシャル「知床 悠久の半島 ヒグマ 生命紡ぐ森から」(55 分版、2002 年、ドキュメンタリー・自然野生生物部門銀賞受賞)、スペシャルドラマ「大麦畑でつかまえて」(2008 年、テレビ映画/ドラマスペシャル部門ファイナリスト)、「ユメミル、アニメ on ちゃん」(2009 年、美術部門ファイナリスト)、チィ先生の小さな音楽隊～カンボジアの子供たちに歌と笑顔を～(2012 年、ドキュメンタリー・コミュニティサービス部門銀賞受賞)があり、本作品は 5 作目となります。

制作にあたった阿久津友紀ディレクターは「世界的にも罹患者が増えている、様々な社会問題がある事がわかりました。自分が患者となる事で、気が付いた数々の社会の壁。放送後、遺伝子検査の保険適用も進んできています。患者さんにとって『生きやすい社会』へメディアとしてできることを続けていきたいと思っております」と話しています。

\*HTB ノンフィクション「おっばい2つとってみた～46歳両側乳がん～」(英題: BOOBIES BEHIND, JOURNEY AHEAD- BILATERAL BREAST CANCER AT 46) は、HTB 報道部でニュースデスクを務めていた阿久津友紀ディレクターが両側乳がん罹患者、患者としてディレクターとして、自らにカメラを向けがんの告知、治療方法を巡る迷いや苦悩、手術からその後までを映像に収めた渾身のドキュメンタリー作品。2020 年日本民間放送連盟賞番組部門テレビ報道番組優秀賞、第 58 回 (2020 年度) ギャラクシー賞テレビ部門奨励賞、テレメンタリー2020 年度最優秀賞受賞 (テレメンタリー30 分版)。また、教育コンテンツの国際コンクール、JAPAN PRIZE 2020 では大賞にあたる日本賞のファイナリストに選出。メディア作品の国際コンペディションであるドイツのワールド・メディア・フェスティバル 2021 ではドキュメンタリー部門銀賞を受賞など、国内外から高い評価を受けている。また、18 年におよぶ乳がん啓発・ピンクリボン活動は、第 58 回 (2020 年度) ギャラクシー賞報道活動部門選奨を受賞した。

※プレスリリースに関するお問い合わせ  
HTB 編成部 山崎  
TEL : 011-205-7666  
メール:yuyamazaki@htb.co.jp

(発行元) 社長室

